

新型コロナウイルス感染症対策の徹底を!!

生徒指導主事 城戸 正剛

長い夏休みが終わり、2学期がスタートしました。まずは、健康な体作りのために学校生活を送る上で最適な生活リズムに戻すことが大切です。9月は、まだ気温が高いです。その中で運動会や新人大会もあるため、“体力”を非常に使います。健康な“カラダ”あつての勉強や運動ですから、正しい生活リズムで健康な“カラダ”を作りましょう。

夏休み期間中の石川県内の感染者状況はこれまでで一番高い水準になっています。新型コロナウイルス感染症対策をするにあたって、学校では手洗い・換気をはじめ、マスクの着用などの対応を継続していきます。さらに感染リスクを抑えるためには、ご家庭（保護者の皆様）のご協力も必要になります。以下3点についてご協力と再確認をお願いします。



- ①検温カードを確認し、サインの記入をする。
- ②生徒本人及びご家族で発熱・風邪症状がある場合は、登校を控える。
- ③生徒本人またはご家族でPCR検査等を受けることになった場合は、速やかに学校に連絡をする。

いじめの意識調査の結果～子どもたちのいじめの意識～

今回は、6月に実施した「いじめの意識調査」の結果についてご紹介します。この調査の目的は、2つあります。1つ目は、津幡中生のいじめに関する意識の現状把握をすること。2つ目は、保護者の皆様にお子様がおんない思っているのかを知って頂くことです。今回のアンケートは年3回実施し、家庭に持ち帰り保護者のサインをお願いしています。2学期も実施する予定ですので、よろしくお願いします。



【生徒の意識】	質問内容	1年	2年	3年
	「どんな理由があってもいじめはいけない」	81%(79)%	73%(84)%	92%(77)%
	「やられたらやり返してもよい」	10%(15)%	24%(10)%	5%(17)%

* ()内は昨年度の数値です。現3年生は、昨年度の84%から92%までいじめに対する意識が向上しました。

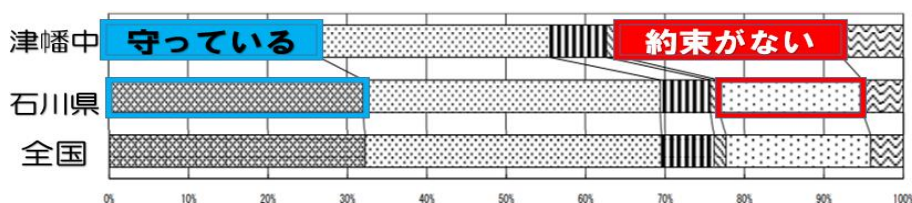
いじめはどんな理由があってもしてはいけないという意識が100%にはならず、やられたらやり返してもよいと考えている生徒もいます。“いじめ”は、どんな理由があってもしてはいけません。“やられたからやり返す”では、お互いを傷つけ合うだけで解決になりません。誰もが、意識を高く持って行動できるようにしてもらいたいです。

学力調査 質問紙調査より

研究主任 鶴山 達也

今年度も全国学力学習状況調査が行われました。新聞報道等でご存じの方も多いかと思いますが、今年度も石川県は全国トップクラスの成績を収めています。本校のデータは後日、特別号にてお知らせする予定です。9月の全校集会では、その時に行われた質問紙調査から、スマホやPCの使い方に関するアンケート結果について話をしました。

【携帯電話、スマホ、PCなどの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか】



上のグラフにもあるように、本校の生徒は県平均や全国に比べると約束を守っている生徒はやや少なく、そもそも約束がないご家庭も多いようです。脳トレの第一人者である東北大学の川島教授の研究によると、スマホなどの使用時間が多い生徒を3年間追跡調査すると、学習を司る大脳の多くの領域で発達が見られないそうです。今一度、ご家庭でルールの確認と徹底をぜひお願いいたします。